

科目名		授業形態	担当教員名	
言語学Ⅱ		講義	水口 志乃扶	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
言語はコミュニケーションのための大切な道具であり、また言語には人間が思考や感覚を表現する機能がある。本講義では人間が使う言語を客観的に観察する姿勢を学び、言語学の基本的な概念を学習し、実際にことばを分析する能力を育成することを目標とする。				
授業の到達目標				
(1) ことばを客観的に観察する能力を身に付ける。(2) 言語を分析する方法論を学ぶ。(3) ことばが実際に分析できるようになる。(4) ことばを通して人間を洞察する視点を作る。				
授業計画				
回	内容			
1	文の構造① 文の仕組みと格			
2	文の構造② 品詞			
3	文の構造③ 態			
4	文の構造④ アスペクト・テンス			
5	文の構造⑤ モダリティ			
6	文の構造⑥ 主題、複文			
7	日本語の諸相① 待遇表現			
8	日本語の諸相② 位相語			
9	日本語の諸相③ 文体			
10	日本語の諸相④ 比喻			
11	語用論①			
12	語用論②			
13	社会言語学			
14	認知言語学と対照言語学			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%			
レポート				
小テスト	50%	課題（授業で指示）の合算		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
日本語概説	沖森卓也 編	朝倉書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
日本語音声学入門	斎藤純男	大修館書店		
よくわかる言語学	定延利之	アルク		
自由記載				
備考				
前期からことばを客観的に観察する訓練をしてきました。後期も人間の言語能力とは何かを考え続けます。今までの「当たり前」が当たり前でなくなる経験を楽しんでください。				